

案内

実験動物の命を覚える礼拝

1月8日(金)オンライン礼拝は、動物の命、生きとし生けるものの命を感謝する礼拝です。ペットのように身近な動物もいれば、大学内の実験で犠牲となる動物(生物)もいます。どのような命も最後まで生き生きすること、生き尽くすことが大切です。人間に与えられている責任を自覚するときを持ちましょう。

礼拝奉鐘の紹介

1月14日(木) 大学ハンドベル・クワイア
曲名 “Canticle of Hope” (作曲者 C. ドブリンスキー)
指揮 鷲 晶子 (ハンドベル・クワイア コーチ)

1月18日(月) 大学ハンドベル・クワイア
曲名 “Amazing Grace” (讃美歌 岡本和子編曲)
指揮 鷲 晶子 (ハンドベル・クワイア コーチ)

被災地を覚える祈り会 (オンライン)

日時 3月11日(木) 12時

女子短期大学卒業礼拝

日時 3月15日(月) 13時30分
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

大学卒業礼拝

日時 3月27日(土) 9時、11時、13時
場所 青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂

礼拝堂でオンライン礼拝の放映について

学内の皆さま、一部対面授業再開に伴い、授業期間の10:30~11:00、大学礼拝堂を開放し、当日のオンライン礼拝配信動画を上映しています。宗教センタースタッフが、感染防止対策を施していますので、心落ち着ける場として安心してご覧ください。

オルガン・メディテーションについて

オンライン礼拝放映後(約10分間)、オルガニストによるオルガン・メディテーションを不定期で行っております。各キャンパスのチャペル入口にメディテーション実施についての情報を掲示しています。10:55までには終わるようにし、2時限目の授業に間に合うようにしています。

洗礼を受けられた方へ

本学在学中に、教会で洗礼を受けられた方は、以下のメールアドレスにて報告くださるか、または、各キャンパス宗教センターにお申し出ください。
報告先メールアドレス: agcac@aoyamagakuin.jp

青山学院大学・短大礼拝週報

2021.1.4.
.1.11.
.1.18.
.1.25.

公現節第1週
公現節第2週
公現節第3週
公現節第4週

No. 32,33,34,35号合併号(オンライン礼拝)

キリスト教のシンボル [17]

「東方の三博士」

教会暦では1月6日を「エピファニー(公現日)」と呼び、東方の三博士が幼子イエスを礼拝するために訪れて来た日としています。

博士たちはギリシア語の原文ではマゴスと記されており、占星術の学者たちを意味しています。当時、占星術は最先端の学問であり、彼らはペルシア宮廷付きの権威ある学者たちでした。そうした人々が、幼子イエスを礼拝するために、遠路はるばる駆けつけて来たのです。この出来事により、イエス・キリストこそ全世界の救い主であることが示されます。

6世紀に作られたモザイクには、豪華な衣装をまとった3人の博士の姿が描かれています。興味深いことに、この3人の博士たちは、先頭が白髪の年輩者、二人目が青年、三人目が壮年といったように、世代別に描き分けられています。おそらくこのモザイクを製作した人は、世代の異なる3人の博士たちを描き分けることにより、イエス・キリストが全ての世代にとっての救い主であることを表現しようとしたのでしょう。

彼らは、黄金・乳香・没薬を幼子イエスの前に差し出します。黄金は権力や忠実を意味し、真の王なるキリストを示します。乳香は神聖を意味し、神の子イエスを示します。そして没薬はキリストの受難と死を意味し、贖罪者なるキリストを示します。つまり3種類の献げ物は、イエス・キリストの生涯を表しており、キリストの生涯は、生まれた時から定められていたということです。



今年度の主題聖句

平和を尋ね求め、追い求めよ。(詩編 第34編 15節)

礼拝動画配信は以下のサイトで

https://www.aoyamagakuin.jp/post_consistency/onlinereihai/



今週の聖句

公現節第1週

「わたしは恵みの時にあなたに答え／救いの日にあなたを助けた。」
(イザヤ書 第49章8節)

解説：恵みの時、私たちは多くのものを与えられおおいに栄えたかもしれません。救いの日、私たちはやっとの思いで困難からはい出て自分を取り戻したつもりになったかもしれません。日の注ぐ日も雨に打たれる日も、ともにいてくださるのは主なる神、私たちの礎であり磐であるお方です。恵みの時も救いの日も、私たちの生は御手に支えられてこそあります。2021年も、答えてくださり助けてくださるお方を仰ぎ見て歩むことができますように。

公現節第2週

「偽りを捨て、それぞれ隣人に対して真実を語りなさい。」
(エフェソの信徒への手紙 第4章25節)

解説：人は、保身のために、場合によっては他者を陥れるために、偽りを語ることがあります。強い者に忖度して語られる言葉は世の中に溢れています。しかし、偽りは神からもっとも遠いものです。同節の後半には「わたしたちは、互いに体の一部なのです」とあります。キリストの体の一部である私たちが偽りをうちに持つとき、それはキリストを偽りのものとすることなのです。キリストにある愛が私たちが偽りから遠ざけてくださいます。

公現節第3週

「人を裁くな。そうすれば、あなたがたも裁かれることがない。」
(ルカによる福音書 第6章37節)

解説：判断の基準を自分に置くとき、あなたは人を裁いているかもしれません。「あの人いい人だね。あいつ嫌な奴だね」。その判断の基準は何ですか?もしかすると自分の快・不快という感情かもしれませんね。裁きの反対は赦しです。赦すとは、その人の存在を受け入れることです。受け入れられない人、いるよね。そんな時、十字架のキリストを見上げてごらん。キリストの愛があなたの固い心を溶かしてくれます。

公現節第4週

「ひたすら神に祈願せよ。おのおの悪の道を離れ、その手から不法を捨てよ。」
(ヨナ書 第3章8節)

解説：「分かるとは、変わるということ」という格言があります。分かったら、生き方が変わる。分からない人は、理解できないのではなく、変わることができない。聖書の言葉が分かれば、祈る人になります。祈る人は神に目を向けています。その時、もう悪の道から離れています。神の戒めに従っているからです。するとその手から不法を捨てていることになるのです。あなたも新しくなれます。その一歩は、祈るところから始まるのです。祈りましょう!



1月8日(金)

実験動物の命を覚える礼拝

説教 福嶋 裕子
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 堀井美和子

招詞

讃美歌 II191(2節)

聖書 マタイ 6:26

(新10頁)

報告 平田 普三

(化学・生命科学科教授)

説教 「空の鳥を見なさい」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月11日(月)

(成人の日)

1月12日(火)

説教 左近 豊
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 鷺 晶子

招詞

讃美歌21 549(1節)

聖書 Iコリント 13:8~13

(新317頁)

説教 「大人になったとき」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月18日(月)

説教 大宮 謙
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 越川伊豆美

招詞

讃美歌 II157(1節)

聖書 マタイ 13:44~46

(新26頁)

奉鐘 ハンドベル・クワイア

説教 「一歩前へ」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月19日(火)

説教 藤原 淳賀
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 越川伊豆美

招詞

讃美歌 320(2節)

聖書 マタイ 6:9~13

(新9頁)

説教 「誘惑から

お守りください」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月20日(水)・21日(木)

(補講日)

1月13日(水)

説教 森島 豊
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 鷺 晶子

招詞

讃美歌21 452(1節)

聖書 エステル 4:13~16

(旧767頁)

説教 「あなたの才能を

生かすとき」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月14日(木)

説教 高砂 民宣
(大学宗教主任)

前奏 奏楽 鷺 晶子

招詞

聖書 エフェソ 4:25

(新357頁)

奉鐘 ハンドベル・クワイア

説教 「新しい生き方」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月15日(金)

司式 吉岡 康子
奨励 河見 誠
(女子短期大学学長)

前奏 奏楽 鷺 晶子

招詞

讃美歌21 532(1節)

聖書 ルカ 18:22~30

(新145頁)

奨励 「いのちにつながる

生き方の鍵は」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月22日(金)

説教 吉岡 康子
(大学・短大宗教主任)

前奏 奏楽 越川伊豆美

招詞

讃美歌21 18(1節)

聖書 フィリピ 3:12~14

(新365頁)

説教 「共に走り続けよう」

祈禱

祝福と派遣

後奏

1月25日(月)

司式 高砂 民宣
説教 町田 俊之
(富士見聖書教会牧師)

前奏 奏楽 越川伊豆美

招詞

讃美歌 79(1節)

聖書 ヨハネ 16:33後半

(新201頁)

説教 「世で勝つ者から、

世に勝つ者へ」

祈禱

祝福と派遣

後奏

聖書(旧):旧約聖書

聖書(新):新約聖書

讃美歌21:1997年版『讃美歌21』

讃美歌:1954年版『讃美歌』

新型コロナウイルスの影響により、ネット上での簡略型の礼拝を配信しております。予告なく内容が変更になる場合があります。ご了承ください。